

1 仙台赤十字病院と宮城県立がんセンターの統合に関する基本合意について

- 1 概要
仙台赤十字病院と県立がんセンターの統合について、関係者間で合意し、基本合意を締結したものの。
- 2 名称
「仙台赤十字病院と宮城県立がんセンターの統合に向けた基本合意書」
- 3 締結日
令和5年12月22日
- 4 締結者
日本赤十字社、宮城県、地方独立行政法人宮城県立病院機構
- 5 合意内容
 - (1) 運営形態等
新病院の設置及び運営は日本赤十字社（第2条）
 - (2) 病床規模
病床規模は400床程度とする（第5条）
 - (3) 整備場所
名取市から提案された同市植松入生に整備（第6条）
 - (4) 開院時期
令和10年度中を目途とする（第8条）
 - (5) 財政支援
県が日本赤十字社に対して整備費の一部等を支援（第7条）
 - (6) 医療機能
次の医療機能の確保に努める（第3条）
 - ①救急医療
断らない二次救急により仙台医療圏南部の救急医療提供体制の強化に貢献
 - ②周産期医療
総合周産期母子医療センターの機能を引き継ぎ、県の周産期医療に貢献
 - ③がん医療
がん診療連携拠点病院として、県内のがん政策において必要な機能を維持（東北大学と補完・連携）
 - ④災害医療
災害拠点病院として貢献
 - ⑤新興感染症対応
新型コロナウイルス等の感染拡大時における地域の感染症対応に貢献
 - (7) 職員の処遇
医療機能に関する詳細な協議を踏まえ、職員の意向に配慮した上で、日本赤十字社・県・県立病院機構の3者が協議し決定（第10条）
 - (8) 地域住民への説明
日本赤十字社・県・県立病院機構の3者が協力して行う（第11条）
- 6 今後の進め方
令和10年度中の開院を目指して、具体的な診療科、人員体制等について協議していく。

1 概要

仙台赤十字病院と宮城県立がんセンターの統合について、関係者間での基本合意を締結したことから、統合を進めるに当たって、国からの支援を受けるため、重点支援区域（※）の申請を行い、国から選定されたもの。

2 申請日及び選定日

- (1) 申請日 令和5年12月27日
- (2) 選定日 令和6年1月16日

3 選定区域

仙台構想区域（仙台医療圏の構成市町村）

4 対象医療機関

- ・仙台赤十字病院
- ・宮城県立がんセンター

5 国に求める支援内容

- (1) 財政的支援
新病院整備にかかる地域医療介護総合確保基金を用いた補助 等
- (2) 技術的支援
再編統合にかかる他病院事例の共有 等

6 選定に当たっての条件

- ・関係自治体に丁寧に説明を行い、理解を得ること
- ・影響を受ける地域住民に丁寧に説明を行い、理解を得ること

7 今後の流れ

令和6年2月～3月 県議会に関連予算を提出

※重点支援区域の概要

(1) 重点支援区域とは

「経済財政運営と改革の基本方針2019（令和元年6月21日閣議決定）」に基づき、地域医療構想の実現に向け、国（厚生労働省）による助言や集中的な支援が行われる区域。
当該区域の地域医療構想調整会議の合意を得た上で、都道府県が申請し、国が選定を行う。

(2) 選定状況（令和6年1月16日時点）

- ①全国
計21区域（13道県）
- ②宮城県
 - ・仙南区域（公立刈田総合病院、みやぎ県南中核病院）
 - ・石巻・登米・気仙沼区域
（登米市立登米市民病院、登米市立米谷病院、登米市立豊里病院）
 - ・仙台構想区域（仙台赤十字病院、宮城県立がんセンター）

(3) 支援内容

- ①財政的支援
 - ・県単位での地域医療介護総合確保基金の優先配分
 - ・「病床機能再編支援事業（統合支援給付金支給事業）」における優遇措置（通常の補助額に1.5倍を乗じた額を支給）
- ②技術的支援
 - ・地域の医療提供体制や、医療機能再編等を検討する医療機関に関するデータ分析の支援
 - ・関係者との意見調整の場の開催 等

1 概要

県が抱える医療の課題や現状、病院再編の方向性等について、仙台市内で説明会を開催したものの。

2 第1回（八木山地区）

- (1) 開催日
令和5年12月17日（日）
- (2) 場所
八木山市民センター（仙台市太白区八木山）
- (3) 参加人数
93人
- (4) 視聴者数（ライブ配信）
94人
- (5) 現在視聴回数（令和6年1月17日時点）
1,057回
- (6) 説明会での主な意見
 - ①令和3年12月に地域住民から反対の署名を出して以来、地域に対して説明がなかったのはなぜか。
 - ②仙台市太白区向山地区は無医村地帯のような状況になっており、地域としても頼りにしている病院のため、その点も踏まえてほしい。
 - ③仙台赤十字病院が赤字になっている要因は三次救急を行っていないからで、がんセンターと統合してそのような体制を整えれば現地で運営できると考える。
 - ④県の狙いは、地域医療構想の推進、病院の統合と病床削減にあるのではないかと。病院に通院している人たち、病院の職員の気持ちを一切汲み取っていない。4つの病院を現地存続して、充実させるという立場で進めてほしい。

3 第2回（台原周辺地区）

- (1) 開催日
令和5年12月23日（土）
- (2) 場所
日立システムズホール仙台（仙台市青葉区旭ヶ丘）
- (3) 参加人数
187人
- (4) 視聴者数（ライブ配信）
80人
- (5) 現在視聴回数（令和6年1月17日時点）
877回
- (6) 説明会での主な意見
 - ①八木山で行われた説明会の時点で、基本合意を締結することが決まっていたのに説明がなかったのはなぜか。その時点で基本合意の認識はどの程度あったのか。
 - ②県立病院の建て替えと各病院の赤字の状況から、一緒に再編すれば丁度いいといった考えから今回の4病院再編に至ったのか。
 - ③仙台医療圏の他の病院の経営状況はどうなっているのか。医療は必要性があって行うものであり、経営状況を理由にするのはおかしいのではないかと。
 - ④黒川地域に救急医療を担う病院が無いということだが、公立黒川病院があり、そのような病院と連携を強化する方が良いのではないかと。

4 今後の進め方

- ・令和6年1月26日（金）に第3回地域説明会を日立システムズホール仙台で開催（資料3）
- ・今後、他地域での開催も検討